

英語リーディング勉強法 (kooori)

<簡単に自己紹介・受験に至ったいきさつなど>

中学の時から某国立志望で、ICU が第一志望になったのは高 3 の春でした。塾が大の苦手で、予備校などには通っていません。自信满满だった AO 入試に落ちてからの受験勉強だったため、時間的にも精神的にも余裕がありませんでした。オンレクにお世話になったのは、高 3 の秋からです。

<単語勉強法>

単語を覚えるのが嫌いで、単語集・熟語集などを使うことはありませんでした。けれども受験中に「もっと単語をやっておけばよかった…」と感じることはなかったように思います。(大学に入ってから別話ですが。) ですので、単語の勉強法に「単語集を使うのか、使わないのか」「何の単語集を使うのか」などの特に決まったセオリーはなく、自分に合った勉強法を信じてやるのが一番だと思います。実際私の友人で色々な先生に単語集を薦められるたびに変わっていき、結局一冊も終えられず、単語集の山だけが残ったという笑えない話もありました。(参考までに、担任にはデータベース 4500、塾の先生の一人には単語王を薦められたそうです)

私の場合は、単語集を使わない勉強方法として、長文中に出て来たわからない単語をその都度覚えていきました。書くよりも読んで覚える方が得意だったのでノートなどに特にまとめることはせず、初めのうちは文章を読みながらひたすら分からなかった単語に線を引いていきました。そうすることで自分がどれくらい知らない単語があるのか目安になりますし、文章中に多々見かける「これは絶対覚えなきゃ！」という単語も数をこなすうちに覚えていくことができました。また、単語を覚える際、私は日本語での意味には特に固執しないようにしていました。単語集などの一対一の日本語訳を覚えるのではなく、辞書に載っている意味全てにざっと目を通し、その単語のおおまかなイメージをするようにしました。そうすることで、私は長文中に意味の分からない単語が出てきた時も、大体の意味を推測する力がついたような気がします。また、もし全く推測もできない単語が出てきてしまっても、そのせいでリーディングがつかずいてしまうなんてこともなくなりました。

<文法勉強法>

私はセンター試験 (ICU は受けていません) の過去問を追い込みで解いていた時に、ある程度の文法力を身につけました。本当に余裕がなかったので、一度解いた文法問題は二度と間違えない、くらいの気合で解き続けました。文法の問題集などを一冊仕上げるということはしていません。その為、私は最後まで文法に対する苦手意識を克服することができませんでした。ICU 入試では、大問として文法問題が組まれているものはありませんが、Part II を解くときに文法の知識は大いに役立ちます。(というか、それが無いと解けない問

題もあります) もし受験の追い込み時期に文法に不安が残っていて、けれども余裕が無くて問題集に手を出せない時は、私のようにセンター試験の過去問を解きつつ文法を覚えていくのも一つの手だと思います。センター試験に限らず、他の入試の過去問や今まで受けてきた模試を使うのも良いと思います。ですがそうならない為にも、比重を置きすぎる必要はないと思いますが、早めに文法を固めておくと随分楽になると思います。薄い本でもいいから一冊終えてれば自信がついただろうなあ、と私は後悔しました。もちろんやっていない私が偉そうに言えることではないのですが、私の後悔がみなさまの糧になったら嬉しいなあと思い、書かせていただきました。

<長文勉強法&Part I 対策>

英語を英語として読む、ということを私は長文を読むときに心掛けていました。つまり、単語や文法、和訳などに固執しないということです。英語の長文をそのまま読み物として楽しむことができたらしめたものだと思います。そしてこの読み方が非常に役立つのがICUのリーディングにおいてでした。よく言われていることですが、ICUの英語はそこまで難しくはありません。もちろん英語が特別得意ではない私にとって、簡単だと言うことはできなかったのですが、それでも過去問を解いていて全く意味が理解できずに終わったということとはなかったような気がします。そして内容もたいてい小難しすぎるものではないので、単語や文法の知識が浅くても十分に読み解くことができると思います。ICUの長文には幸い和訳問題は無いので、細かい訳は気にしすぎずに全体の意味を掴むことを心掛けた方が良いと思います。そして問題を解いていて細かい理解が必要な場合のみ、頭の中で和訳をするように私はしていました。といっても理解のための和訳なので、知らない単語は推測し、自分がわかればいいぐらいのおおまかな訳です。量は少なくないので、その方が時間短縮にもなりました。また私の場合、問題を解いていくことで内容理解が深まるということが多々あったため、その時前の問題に戻る時間を取っておく為にも、時間短縮は必須でした。そして問題を解き終わった後は、もう一度文章を読んで単語勉強法で書いたように知らない単語や表現を覚えこんでいきました。

<Part II 対策 (穴埋め対策) >

Part IIは問題文に書かれていた通りに、始めに全体にざっと目を通してから問題を解いていきました。文法が大の苦手だったので意味から推察して解こうと頑張ったのですが、私にはかなりきつかったです。全体に目を通してなかなか意味が掴めない時もあり、結局は数センテンス毎に分解して、解いている空欄の前後1~2行に注目しつつ穴埋めを解いていきました。英語というよりも、もはやクイズ感覚でした。私のようにならない為にも、基本的な文法力くらいは身につけて置くことを是非お勧めします。特に難しいものが出てくるわけではないので、その文法力さえあれば、あとは単語や読解勉強時に培った推察力が役に立つと思います。

<リーディングにおけるオンラインレクチャー活用法>

特に英語リーディングにおいては、私は赤本よりもオンレクを活用することをお勧めします。解答の和訳を、一対一の訳というよりは読み物として楽しむことができます。私は訳を意識せずに読解をし、その後内容確認のために和訳を読みました。ICU のリーディングは難しすぎず、内容も(私にとっては)なかなか面白いものばかりですので、オンレク訳のおかげで ICU リーディングを楽しむことができるようになりました。

<結論・受験生へのメッセージ>

自明のことですが、私の勉強法を当てにはしすぎず、是非みなさまがご自分に合っていると思われる方法に自信を持って勉強してってください。ICU で英語の比重が大きいのは入ってからのもので、入試においては他の科目と変わりません。ですので、前述した私の友人のように、色んな人の意見を聞きすぎて結局何も終わらなかったということ为了避免するためにも、ご自身の勉強法を確立されるのが一番だと思います。もちろんご自分の勉強法を探すために他の方のアドバイスを参考にするのも良いと思います。私のように、単語や文法を問題中に自然に覚えていくのも一つの方法です。是非ご自分に合った勉強法を見つけ、自分を信じて頑張ってください。みなさまとキャンパスで会えることを楽しみにしつつ、応援しております。